

- 自分が新人時代にインボイスが導入されていたらかなりの参入障壁になったと思う。  
(40代／アニメーター・キャラクターデザイナー)
- 周知が足りてない。そもそも、スケジュールがないなか仕事しているのに、こんな煩雑な事務処理で作業時間を奪うのは業界の損失。減税ならまだしも増税、誰も得しない。  
(40代／アニメーター・キャラクターデザイナー)
- 絶対に施行しないでいただきたい。どうしてもやりたいのなら日本のアニメ文化を殺したくて仕方がない！と宣言してからやるくらいでないと納得できません。  
(40代／アニメーター・キャラクターデザイナー)
- アニメ業界給与低い×正社員あまりない×物価上昇×円安の中、さらにインボイスが来ると、個人事業主廃業して、ほかの業界で正社員の仕事を探す予定。あるいは、アニメ業界に残っても中国の仕事をメインにする予定。  
(30代／アニメーター・キャラクターデザイナー)
- 病気で社員を辞めせたく自分合ったフリーランスになったのに、難しい手続きが異常に苦手なため、また社員に戻ってしまう。ほぼ確実に病気が悪化する未来が確定してしまっている。働き方の自由を無くすという点ではかなり異常な制度だと思う。  
(30代／アニメーター・キャラクターデザイナー)
- ただでさえコロナで苦しい状況が、国によって守られるどころか文化を潰すかのような政策を進めていくというのはどういうことなのかとも理解に苦しむ。多くの芸術に携わるアーティストはフリーランスだという事実があるのに。文化庁での予算もどんどん削られているなど、我々アーティストが必要ないと言われているように感じて虚しい。文化が衰退していくということが国にとって世界的にどのような事なのかを理解しているのだろうか。  
(20代／アニメーター・キャラクターデザイナー)
- 益税だとかズルだとか、分断をされていると感じる。社会は循環しているので、誰しも他人事では済まされない。また、事務作業が煩雑に過ぎる。それだけで現実的ではないと思われる。  
(40代／演出)
- 現在の立場でも会社員に比べ税負担が大きいと感じていますが、駆け出しのころに年収の10%を持っていかれたらとてもやっていけないとゾッとします。業界改革が遅々として進まない中で、コンテンツ産業を衰退させる政策は取るべきではないと思います。  
(30代／アニメーター・キャラクターデザイナー)

○今はようやく400万以上稼げるようになりましたが、新人〜わりと最近までは100万いかない位でした。月曜の朝8枚切りの食パンを買って、1日1枚お昼に食べて一週間を乗り気っていました。知人からは「好きなことをしてるんだから」とか「分かってて入ったんでしょ？」と言われることもよくあります。「別に稼げなくても満足なんでしょ？」と言われたこともあります。アニメーターになってすぐ稼げる天才もいます。でも、私や大多数の普通のアニメーターは稼げるようになるまでに時間がかかってしまいます。その間に業界を離れてしまった才能ある人をたくさん知っています。もし、インボイスが始まってしまったら年100万しか稼げない人から数万円取ることになります。それがどれだけ非情なことかお分かりでしょうか？免税事業者というのが無くなってしまえば新人を育てることは今以上に難しくなるでしょう。一部の天才アニメーター達だけでアニメを作っているわけではありません。名前を知られることもない様なたくさんアニメーター達が今の日本のアニメ制作を支えているのです。

昨今は海外アニメーターの技術の向上には目を見張るものがありますし、中国発注アニメの単価の高さも知られるようになってきました。(私にきた仕事は日本の平均の倍でした)

「日本のアニメはすごい！」と胸を張って言いたいところですが、正直最近海外勢に押されてきてる感が否めません。恐らく、近い将来中国に十八番を取られてしまうんじゃないかという懸念も拭えません。そんな中でインボイスが始まり、新人をより一層育てられない状況に追い込まれてしまえば日本のアニメはすぐに衰退していくでしょう。せめて年収1000万円以下の免税事業者、の立場を守って頂きたいです。

(30代/アニメーター・キャラクターデザイナー)

○フリーランスになったばかりで取引先がそもそも少ないため、最悪廃業を考えなければならないかと思うと不安です。

(20代/仕上げ)

○アニメ業界だけでなく出版業界やゲーム業界をまたいでいるので、どこで相談すると良いかいつも悩みます。

(50代/監修 設定考証)

○短い期間内に大量生産することを求められる今の国内のアニメ業界では、制作過程における重要な部分ほど優秀な個人の技能に依存している面が大きいです。インボイス制度が施行されれば、そういった作品の中核を担う人物から影響を受けることになるでしょう。しかしインボイス制度施行を理由に商業作品の予算が増えるとは考えづらく、またアニメ制作の現場は性質上どの職業においても請け負う仕事量に限界があるため、結果的に正社員雇用でない多くの優秀な作業者は収入の減少を避けられないはずで、このまま進めばアニメという大きなひとつの産業を潰す、その事実をよく検討していただきたいです。

(20代/CGクリエイター)

○新人がさらに入ってきて来にくくなると思います。若い方に負担が大き過ぎます。

(40代/アニメーター・キャラクターデザイナー)

○導入されると収入が減る分、仕事量を増やさないといけない。となるとクオリティが落ちる作品が間違いなく増え、体調を崩す人も増える。そして業界への就職希望者も必ず減る。

(50代/アニメーター・キャラクターデザイナー)

○アニメ業界に関しては制作会社もそこで働くスタッフも、「現状勝っている所」以外は、どちらもお金がないと言われてるので、「それ以外」に当たる所では、インボイス制度で発生する税負担が押し付けられた方に天秤が傾いて、廃業が決まる気がする。取引先の会社がなくなったり、会社側の取引相手がいなくなる可能性があるのがとても怖い。そんな業界に入りたいと思う新人がいるのか疑問…。自分が新人なら、インボイス制度の存在を知ったらこの業界を選ばないと思う。「インボイス制度が始まるかもしれない」という事前情報だけで、この業界に飛び込まない人はいると思う。それだけでかなりの損失になっていると思う。

(30代／アニメーター・キャラクターデザイナー)

○廃業するとしたら、まずは若手です。収入から一割引いたら生活できません。それを防ぐには制作費を上げるしかありませんが、コロナで打撃を受けているスポンサーにその余力があるのでしょうか？とても無理です。災害や疫病で国民が弱っているときは、減税が当然です。

(30代／アニメーター・キャラクターデザイナー)

○確定申告ですらやり方を知らなかったり発達障害などのためにできないままになっている同業者がいる。その現状がある中でさらに難しいことを無理やりさせようとするれば、その人たちはアニメの仕事どころか働くこと自体をやめてしまうことが想像に難くない。アニメ業界がつぶれてしまう。絶対にやめてほしい。

(40代／アニメーター・キャラクターデザイナー)

○現状、新人への技術の継承と育成も難しく、増えた作品数をカバーする為まともな仕事も出来ない人材にまで仕事を発注し、しっかりした仕事をする人ほど負担が増え、結果良質な人材確保が難しくなる等業界内には深い問題があると思っています。そんな中、益々新人や丁寧な仕事で頑張ってくれている方々の生活が厳しくなり辞めざるを得ないことが増え、人材の質がこれ以上に悪くなっていけば、業界の崩壊が食い止められなくなるかもしれません。国を支える一つの産業を守る為、国がすべきことはもっと他にあると思います。

(30代／アニメーター・キャラクターデザイナー)

○税を納めていないんだからずるい、泥棒だというような一般の意見も多く目にしていて、インボイス制度に反対することへの罪悪感のようなものを感じて疲れてしまいました。いきなりインボイスなんて導入されて困ると声を上げているだけなのに、まるで罪人になったような気分です。制作以外でこんな心労を負わなくてははいけないのは苦しいです。せめて個人事業主の内いくら以下の年収の人は免除など何かしら救済処置が欲しいなとおもってしまいます。

(20代／アニメーター・キャラクターデザイナー)

○出来高制なので今以上に事務作業に割く時間が増えると収入減に直結する。

(30代／アニメーター・キャラクターデザイナー)

○イラスト仲介サイトで個人の方と取引した場合に本名がバレてしまうことが困るし、嫌がらせなどに使われてしまう可能性が大きいから。

(20代／イラストレーター)

○大手のアニメーション会社の幹部ですら、未だにこの問題について認知していない人が多いです。説明すると、みんなそんなバカなことがあるわけないだろと言います。業界の核となっている人たちです。ただでさえ現場は追い詰められているのに、こんな状況で、事務負担が大量増になるインボイス制度を施行するなど、正気の沙汰とは思えません。個々のフリーランスだけでなく、スタジオ側だって全然対応が追いついていないのです。また、スタッフの大半は免税業者です。私の場合は取引先が明確な方針を打ち出しておらず、これからこれまでと同じギャラで仕事を続けることができるのか、非常に不安です。アニメ業界の仕事だけでは収入が心もとないので、別の業界での仕事も掛け持ちしていますが、これ以上収入が減ったら体が持ちません。今はまだなんとかフリーで仕事を続けたいと考えていますが、確実に生活は苦しくなるし、今すぐにではなくとも廃業の可能性も見据えています。どうすればいいか、途方に暮れるばかりです。こんな誰も幸せにならない制度がまかり通ろうとしてること自体、未だに信じられません。これで自由な働き方を推奨とか、鼻で笑ってしまいます。ふざけるな。  
(30代／プロデューサー)

○事務所はインボイスに登録せざるを得ないが、所属俳優でインボイス登録しない者は、消費税分のギャラを引くと言われた。実質年収1割減確定である。登録してもしなくても収入が減り負担が増える制度はおかしい。それなのに全く報道されていないように思う。コロナ禍の影響もあり、ただでさえ仕事が減っている。仕事が減っている要因はそれだけではないが、売れっ子ではない大半の人間にインボイスは大ダメージである。断固反対する。  
(50代／声優、ナレーター、講師)

○インボイスの主旨は理解しています。しかし社会への周知があまりに無く、諸問題もまるで解決されていないままの施行には反対せざるをえません。実際に取引先のいくつかからはインボイスの施行までの取引を宣言されており、実際に始まったとしても、膨大でかつここまで煩雑な事務作業を個人で、睡眠を削って行う本来の仕事の上には物理的に不可能です。膨大な時間を事務に費やすのでしょうか？本来の仕事の時間を犠牲にして。取引先の方に膨大な事務が発生するため、こちらに依頼するのはやめにしたいと。しかし絵がなくなるのは困る。取引先も私も困っているのです。  
(50代／著作権イラストレーター)

○益税がずるい等、零細個人経営と既に課税している個人経営&サラリーマン間の対立になりかけている事態はまずいと思う。  
(30代／アニメーター・キャラクターデザイナー)

○やっと今年から収入が増えてきたところなのに、また貯金もできなくなるような金額しか手元に残らなくなりそうで不安です。また、仕事を始めた頃の頃にインボイス制度があったら続けて来られなかったと思います。人手が足りないという話を常に耳にするのに今以上にアニメの仕事の続けにくくするのは、この業界を無くしたいと思われているように感じてしまいます。  
(30代／アニメーター・キャラクターデザイナー)

○コロナ禍でアニメ関係のイベントも中止が相次ぎ、それに伴いイベント関係の大きな仕事がいくつもなくなりました。蓄えられていたはずの大きな金額をリカバリできないまま物価高騰なども響いており（紙・グッズの原材料等多岐に渡ります）鞭打つ形で負担が増えることに憤りを感じております。インボイス公表サイトでの個人情報の取り扱いに関して、現状あまりにも杜撰であり信用できません。「クリエイターを守る」という姿勢が全く感じられず、不安しかありません。

（40代／公式サイト・キャラグッズ等のデザイナー）

○副業を推進する社会でありながら、インボイス制度を導入することの意味がわからない。子供も生まれる予定だが、このままでは廃業し別の仕事を探すことも考えている。

（30代／アニメーター・キャラクターデザイナー）

○収入が減る、事務作業が増えるとなると続けていけるかわかりません。

（40代／演出）

○免税業者イコール脱税業者のように言われて悲しいこともあります。つまり、大半が理解や周知できていない制度なのでは。施行された場合に影響を受けるすべての業種や、それによってあらゆる国民の実生活の選択の幅が狭まることをもっと具体的に知らしめたいです。（50代／仕上げ）

○よっぽどのカリスマでないかぎり、個人事業主というのは「多少安いから」という理由で発注を受けてることが多いと思います。そのような不利な状態で取引先に交渉をするのは難しいのではないのでしょうか…。せめてコロナ化や戦争が始まる前でしたらどうにか踏ん張れたかもしれませんが、今やるべきではないです。

（30代／デザイナー（アニメグッズ））

○事務作業の煩雑さも嫌ですが、年収の一角が（実質）増税されると生活苦になりそうです。経済的に不安定な状況は創作に支障をきたします。その上個人情報を守られない環境になっているらしく、一体誰得なのか。税の簡素化の真逆な制度と思います。

（50代／アニメーター・キャラクターデザイナー）

○現状のアニメ制作スタッフは一部の優秀なスタッフとその他大勢の力不足なスタッフによって維持されており、新しく入ってくる若手スタッフを育てていかなければほぼ維持できない状態です。アニメ業界という若手とは、世間一般とは違うかもしれませんが20～30代のスタッフであり、収入は決して多くないスタッフがほとんどです。

今この世代への金銭面の負担が増えれば、かならず業界を去っていく人が出ますし、そうなればコンテンツそのものが作り続けられませんか。育てる世代も、これから育つ世代もいなくなり、世界に売れるアニメというのはお金があっても作れない時代が来ると考えます。

（30代／演出）

○インボイス制度についてはフリーランス間のみで話題になっており、企業側にどの程度周知されているのか、今後どのような対応が考えられるのかなどこれまでに一切説明を受けたことがないことに不安を感じます。取引のある会社にそれとなく聞いてみても、「始まってみないとわからない」や「そもそも免税事業者って払うべき税金を払わないで来たんでしょ?」「嫌なら社員になれば?」くらいの認識でした。個人事業主という働き方は推奨しながらもすべては自己責任論で個の生活や働き方をサポートする姿勢のない政治に疑問を感じます。

(30代/アニメーター・キャラクターデザイナー)

○指を壊す事も多くその度に年収150万行かない時もあります。今ギリギリで生きています。アニメで生きていくのはもう難しいと思えてしまいます。この業界を見限りたく無いですが、生きていけなくなったら辞めることも考えねばいけませんね。

(50代/アニメーター・キャラクターデザイナー)

○私は今の仕事をずっと夢見て目指してきましたが、実際は生活も厳しくダブルワークでヘトヘトの状態です。それでも、掴んだ夢を早々に離したくない気持ちが大きいのでどんなに辛くても続けたいと思って来ました。その気持ちを無視するような勝手な制度に、私は夢を潰されてしまうんだと感じています。今より厳しい状況になるなら、この仕事は辞めざるを得ないのだなと覚悟しています。もしそうなったら、私は一生、国に夢と職を奪われたのだと、自国を恨んでしまうかもしれません。

(20代/アニメーター・キャラクターデザイナー)

○フリーランスはほとんどの時間が営業時間であり業務時間です。本来なら業務にあてられた時間を、経理にばかり費やしては、そもそもの収入が得られないのです。経理作業が簡略化できる制度が整わなくてはこれ以上とても担えません。

(40代/シナリオライター)

○今は安定した仕事と収入があるがフリーランスなので社保もボーナスも退職金もなく将来が不安。インボイスで更に不安要素が増えるので憂鬱です。

(20代/アニメーター・キャラクターデザイナー)

○キャスティングという立場は、クライアント（制作会社）から依頼されて請け負いますが、キャラクターや作品に合った声や技術者をキャスティング、ブッキングします。起用したい声優や技術者がフリーランスでインボイスをしていなかった場合、せっかく実力があっても起用出来なくなる可能性がある。今その辺りをどう捉えるかクライアント側と相談しております。

(40代/キャスティング)

○私は現在契約社員としてアニメーターに従事していますが、同業者のフリーランスの方々が苦しむことに納得できません。彼ら彼女らに大いに助けられています。また今後新規に業界に入る人がいなければ業界は先細っていったしまうと思います。私自身も職業柄、将来的にフリーランスになる可能性は0ではないため他人事ではありません。一時的に廃業者が増えて仕事は増えるかもしれませんが、その先は細っていったしまう可能性があるとおもいます。

(20代/アニメーター・キャラクターデザイナー)

○産まれる前、子供の頃から勝手に決められた政策でどうして大人になってこんなに怖い思い、不安な思い、生き辛い日本にされなきゃ行けないのだろうと言うのが素直な気持ちです。(20代/声優)

○ただでさえコロナ渦で営業機会が激減し、新規参入者が育ちにくい(現れにくい)状況なのに、更に追い風のようなインボイス制度。生活費も膨らむ一方で、このままでは廃業も視野に入れざるを得ない。まだまだアニメを好きでいてくれる人のために、アニメを好きな自分のために働きたいのに。この国は、文化を継ぐ者を根絶やせたいのか。影響は今すぐ表れずとも、必ず数十年掛けて業界を蝕み、縮小へと向かわせることと思う。国も、そして業界全体も、もっと未来へ向けて、自分たちの子どもたちのために、政治をしてほしい。

(30代/シナリオライター)

○周知が足りていない点が問題です。制度自体が複雑で、どんな問題が起こりうるか想像しにくいいため、施行してからの影響も計り知れません。もっと簡単な方法があるのではないかと思います。

(30代/声優)

○税額よりも事務などの対応が煩雑で、無駄であると思う。内部の事務が増えても誰の所得にもならない。(30代/CGクリエイター)

○登録情報を誰でも商用利用できてしまう点。

(30代/イラストレーター)

○大企業からの徴税は減らし、少額ずつしか徴収できないことがわかっている弱い立場にあえて重税をかすのはそのまま生活ができなくなり、死ぬことすらあります。絶対にインボイスは導入すべきでないと思います。

(40代/2Dアーティスト)

○国民年金で老後が不安なため貯蓄してるのが、経済的なゆとりがなくなりできなくなりそうで怖いです。

(40代/背景美術)

○ややこしくして手間と時間とお金だけでなく、仕事先との関係まで面倒にするのを本当にやめて欲しい。

(40代/アニメーター・キャラクターデザイナー)

○性質に問題を抱えて、フリーランスを選択する人も多いので、弱者の雇用を奪う制度はデメリットの方が大きいと思われます。

(30代/演出)

○小さな子供がいるので時間の制約で会社員にはなれないので、廃業してアニメ業界からも去り、パートタイムになるしかないのかなとも思います。

(20代/アニメーター・キャラクターデザイナー)

○フリーランスや小規模事業に支えられている業界では、メリットよりデメリットの方が格段に大きい。

(40代/アニメーター・キャラクターデザイナー)

○殺さないでください

(20代／アニメーター・キャラクターデザイナー)

○収入が少なくとも自立して働いて生きていきたいと思ってついた仕事です。正社員になれない仕事について私が悪いのでしょうか？勝手ながら、インボイス制度反対に異議を唱える方たちからはそういう空気を感じることがあり悲しく思います。

(30代／仕上げ)

○新型コロナの影響は一つの契機だと思いますが、作品づくりの柔軟性が減ってきている気がします。また、物価が上昇している中、依頼料は従来と変わらず抑える傾向でもある事に不安を感じています。その上にインボイス制度で事務などの負担が重なるのは明るい展開とは思えません。

(50代／アニメーター・キャラクターデザイナー)

○アニメ業界は小さな会社がとても多い。会社が気を使って課税業者にならなくても大丈夫だと言ってくれたとしてもそこで安心はできません。結局会社の負担は増えるのだから、それで会社が傾く、いっそ潰れるなんてことがあったら自分たちも収入源を失うことになります。

(30代／演出)

○今も限界値まで仕事を請けていますが、インボイス関連で手取りが減るとすぐに廃業とはならなくても今後家庭を持つとか、老後の生活の見通しがさらにたちません。

(30代／アニメーター・キャラクターデザイナー)

○私自身は正社員なため要請はない。が、講習会の対象者は個人事業主なためインボイス制度について講習を行ったところ、直属の上司より「今はまだインボイス制度について知ってほしくない」という驚くべき本音が出たことがあり、以降この件に関するスタジオの姿勢については懐疑的になっている。

(40代／アニメーター・育成責任者)